## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.3-34)

件名	清澄機デクロッギング用ポンプにおける吐出流量の低下
事象の概要	
   (1)発生場所∶機器	   前処理建屋∶清澄機デクロッギング硝酸ポンプ
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
(2)発生の状況 	清澄機デクロッギングポンプの運転中 
(3)概要	デクロッギング硝酸ポンプ吐出側のボール弁の不良による吐出流量の低下
事象による影響	
3 13 11 12 13 13	
(1)工場外への影響	<b>工場外への影響は生じない。</b>   放射性物質を全く取り扱わない硝酸供給系での事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。
(2)安全性への影響	安全上の問題は生じない。 デクロッギング硝酸ポンプの吐出流量低下に伴う自動停止により、清澄機の運転は一時的に支障を受けるが、非常用デクロッキング系統に切り替えて運転するので、これ以上の事象の進展はない。
(3)作業員への影響	作業員への影響は生じない。 デクロッギング硝酸ポンプの復旧作業は、放射性物質を直接扱わない作業なので、作業員への影響は
(4)他工程への影響	生じない。  他工程への影響は生じない。  非常用デクロッギング系統を用いて運転を継続できるため、他の工程への運転に影響は生じない。
	(1) ポンプ内の吐出側ボール弁の作動不良が原因によるトラブルであることを確認する。
	(2) 非常用デクロッキング系統に切り替えて運転を再開する。
対応の概要	(3) 吐出流量調整弁を設定値に調整する。
XY/ICV/TMS	(4) 吐出流量調整弁の設定値の調整によって正常に復旧できない場合は、定められた保 修手順に従ってポンプの保修を行う。
	(5) 保修終了後、作動試験でポンプ作動確認を行い、異常のない場合は、定められた操作   手順により運転を再開する。
公表区分 翌平日に	こ公表(ホームページへ掲載)
(b)i	<ul><li>運転継続しながら復旧</li><li>運転系統を切り替えて復旧</li><li>当該機器を停止して復旧</li><li>日本原燃に</li><li>● 0以下 1 2 3 4 5 6 7</li><li>○ 以下 1 2 3 4 5 6 7</li></ul>
	当該設備を停止して復旧 よる評価: レベルの以下 影響範囲の設備を停止

